

意見書

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「あしたへジャンプ」の単元では、成長した自分のことを振り返る様々な活動がある。また、児童の吹き出しが多く、より自分の成長への気付きを促す構成になっている。 ・「うごくうごくわたしのおもちゃ」の単元では、イラストで具体的におもちゃ作りの方法や遊び方の例が示してあり、考えたり工夫したりすることが出来る。 ・「つながる広がるわたしの生活」の単元では、学びを深めるグループでの話し合いの一部が、対話形式で示されている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のスタートにあたり、1日の過ごし方や学校での約束、これから始まる学習について、絵や吹き出し、写真などで分かりやすく掲載されており、期待感が高まるよう工夫されている。 ・下巻最後の単元には、生活科で身に付けた資質・能力が、中学年以降の学びへと移行していくことがイメージできる「つながるひろがる」が設定されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・春に探検に行った場所に、秋にさらに探検に行き、季節によって変わったことがあることに気付き、さらに町の人に聞きに行き、分かったことを伝え合う活動をしている。気付きの質の高まりの例示のみならず、深い学びの学習環境（友達と交流し、伝え合う場をイラストで具現化）なども具体的に例示している。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から伝わる伝承遊びや、草花遊び、伝統行事（下巻 57 頁：高山祭）、節分や節句の行事などが豊富に掲載されている。 ・「春夏秋冬のくらし」の頁では、文化財や地域の祭事の写真が多く掲載されている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の仕方 巻末「かつどうべんりちょう」内 上巻「コンピューターをつかおう」でタブレット、デジカメの紹介がされている。 ・下巻「しらべようつたえよう」でビデオ通話や電子メールなどの紹介がされている。 ・二次元コードの数は、上巻が49、下巻が35、合計84で、非常に多くのデジタルコンテンツが掲載されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学び方になるように考え方やまとめ方の例が豊富に掲載されている。 ・インタビューの仕方、電話のかけ方など、技能面について具体的に記載されている。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻ともにA4判の大きさであり、重さについても児童への負担を考え、配慮がなされている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・小単元名、安全指導（約束）、手洗指示等を同じ位置に配置している。 ・目次に、学ぶ時期を表す季節マークを掲載している。 ・吹き出しがシンプルで見やすい。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻末に、生活科の学習で身に付ける習慣や技能をまとめた「かつどうべんりてちょう」を掲載していて活用できる。

意見書

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
大日本図書

調査項目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1) <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしひろがれ」の単位では、1年間の生活を写真・絵・カードで振り返ることで、自分の成長に気付きやすい構成になっている。 ・「楽しさひろがれ わたしのおもちゃ」の単位では、例がたくさん示されていて、対象との関わり方のヒントになる。 ・「町のキラリひろがれ」の単位では、グループ活動の様子が挿絵や吹き出しで示されている。
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・入学後の生活を写真やイラストで掲載し、1日の流れを知ることで不安を減らし、学校生活への意欲へつながるように仕組まれている。他教科との関連が深いところには、教科名を示し、児童らが意識できるよう工夫されている。
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・町探検においては2回目の探検に重点を置いている。町のキラリをたくさん見つけ、町のキラリ発表会を行うことで意欲化を図っている。学校や町にもキラリが広がるように、紙芝居・動画・地図・ポスターなどの体験的活動例を示している。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1) <ul style="list-style-type: none"> ・町探検など地域に出かける活動を通して、地域の人々との関わりが深まり、自分の住む町への愛着が育まれるように構成されている。 ・地域の祭事、日本の風、手作りおやつなどが掲載されている。
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の仕方 「がくしゅうどうぐぼこ」内 上巻「まなびかためいじん かんさつめいじん」では、タブレットであさがおの写真撮影している。 下巻「学び方名人話し合い名人」ではインターネットの利用、「学び方名人はっぴょう名人」では、発表会での動画の利用が紹介されている。 ・二次元コードの数は、上巻が55、下巻が48、合計103で、非常に多くのデジタルコンテンツが掲載されている。
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しがもちやすいように調べ方・伝え方が掲載されている。
3 印刷・製本等	(1) <ul style="list-style-type: none"> ・各巻ともにA4判の大きさと、児童の使いやすさに配慮している。
	(2) <ul style="list-style-type: none"> ・上巻に、振り返りを促す「気持ちマーク」を掲載している。 ・目次を単元ごとに掲載している。
	(3) <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「がくしゅうどうぐぼこ」のページには、情報の収集に関わる方法や道具の使い方等が掲載されている。

意見書

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
学校図書

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたんけん」の単元では、写真を多く掲載し、気付きを促している。 ・「作ってあそぼううごくおもちゃ」の単元では、写真に矢印がかいてあり、願いに沿った見通しが示されている。 ・「あの人に会いたいな」の単元では、対象への気付きに関わって新聞や地図等を用いて、作品として掲載している。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に向けて、各単元の学習のねらいを丁寧に説明している。 ・上下巻を通して、自然や生き物、物を扱った遊びに関する内容項目が非常に多く、理科へのスムーズな移行ができるよう仕組みられている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の「あの人に会いたいな」ではまちの人々に注目させ、人との交流を企画している。「実行」の場面では、話しているうちに自然に気付きの質が高まっていく様子を表現している。振り返り場面では、ポスター等にまとめながらも新たな疑問がわき、また聞きに行きたいという知的欲求を喚起させるとともに、自分達のまちを愛し大切にしようと考えられるように構成してある。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻で伝統的な遊びを取り入れたり、下巻で各地の伝統的な行事を紹介したりして、我が国の伝統と文化に愛着をもてるように配慮されている。 ・「町の季節春夏秋冬」では、各地の様子として、祭事の写真が掲載されている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の仕方 巻末「まなびかたずかん」内上下巻「つかう」でタブレットやデジカメでの写真、動画撮影やインターネット検索についての紹介されている。 ・二次元コードの数は、上巻が35、下巻が26、合計61で、多くのデジタルコンテンツが掲載されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な学び方のイメージがしやすい話し方や聞き方・書き方を重視した内容で構成している。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻ともにA B判で、ランドセルや引き出しに入れやすい大きさになっている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻末に「学び方図鑑」を掲載し、話す、聞く等の学び方や安全面での注意事項を指導しやすい工夫をしている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・小単元名、安全指導(約束)、手洗い指示などを同じ位置に配置している。 ・目次に、学ぶ時期と期間を表す、月の目盛りを掲載している。

意見書

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「あしたへつなぐ自分たんけん」の単元では、生活を写真・絵・図・カードで振り返ることで、自分の成長に気づきやすい構成となっている。 ・「作ってためして」の単元では、失敗からどのようにパワーアップしていくのかが意識された構成になっている。 ・「えがおのひみつたんけんたい」の単元では、付箋を用いて、意見の整理の仕方を示すことでグループ活動の進め方を示している。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻巻頭「はじめのいっぽ」の単元では、幼児期の学びを下段にイラストで示し、それを生かして学習している姿を上段に示すことで、幼保から学校生活へのつながりを感じ、スムーズな移行がなされるよう工夫されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の探検では働いている人がみんな笑顔だったことから、2回目の探検は「笑顔の秘密を調べよう」という課題で、笑顔の秘密を探るために、インタビューしたり体験したりした。体験したことを伝えるにはどんな方法があるか(クイズ・ペープサート、ICT活用)を例示している。また、町の方の招待の仕方、発表会の仕方、ありがたいの伝え方などについて、いろいろな方法を提示している。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料が豊富に掲載されている。 ・春夏秋冬の行事では、各地の祭事の写真が掲載されている。 ・町の自慢では、全国の施設や郷土料理を紹介している。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の仕方 「学びのポケット」内 上下巻「コンピュータをつかうとき」では、タブレットやパソコンをはじめ、さまざまな情報機器の使い方が掲載されている。また、ルールとマナーについても紹介されている。 ・二次元コードの数は、上巻が35、下巻が32、合計67のデジタルコンテンツが掲載されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや諸活動の写真を掲載し、学びのイメージを支援している。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻ともA4判の大きさであり、重さについても児童への負担を配慮している。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・①気付く、②自分でできる(知識及び技能の基礎)、③考える、④伝える(思考力・判断力・表現力等の基礎)、⑤挑戦する、⑥自信をもつ(学びに向かう力、人間性等)の6つの力で単元を構成している。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科等での学び(知識・技能)を生活科のこの時間に活用できると具体的に示した「学びのポケット」が掲載されている。

意見書

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
光村図書出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「広がれわたし」の単元では、1年間の生活を写真・絵・カードで振り返り、自分の成長に気付くことができる構成になっている。 ・「あそんで作ってくふうして」の単元では、素材を積む、並べるといった試行することや競争したり発表したりする活動の発展について示している。 ・「みんなにつたえようすてきなまち」の単元では、探検を計画する場面での児童の対話が具体的で分かりやすい。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・「いちねんせいがはじまるよ」では絵を見て発見したり期待を高めたりし、次に写真を参考にして活動する等、幼保での学びを生かした構成となっている。下巻末には、生活科との関連が捉えられるよう、「3年生の学しゅうをのぞいてみよう」を設けている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・春に探検した場所に秋も出かけ、発見したことを伝え合う。その後、もっと詳しく知りたくなり、町の人に話を聞く。発見したことをみんなに伝えるために、様々な表現方法から自分に合ったものを選んでもっと調べる。最後、壁新聞やポスター、パンフレットなどにまとめ、町の素敵を伝えている。
2 岐阜県教育振 興基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の伝統行事などを示し、児童が身近な伝統や文化に目を向けるきっかけとなるようにした。 ・「春夏秋冬の生活」では、全国各地の祭事や給食、昆虫などの写真が掲載されている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の仕方 「ひろがる せいかつじてん」内 上巻「きろくをしよう」下巻「じょうほうききをつかおう」では、タブレットやデジタルカメラが紹介されている。また、使用する際に気を付けることも掲載されている。 ・二次元コードの数は、上巻が28、下巻が17、合計45のデジタルコンテンツが掲載されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方をイラストで示すことで、児童が学びの姿をイメージしやすいようにしている。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻ともA4判の大きさであり、引き出しやランドセルの大きさに対応している。上下巻の「ひろがる せいかつじてん」が取り外せるようになっており、重さや使いやすさへの配慮がされている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・小単元名、ヒント、振り返りの視点を同じ位置に配置している。 ・学習ノート、新聞等を太枠で強調している。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「ひろがるせいかつじてん」を掲載し、安全面での注意事項や学び方を指導できるようにしている。 ・学習の振り返りができるシールがあり、活動の最後に貼ることで、自己省察の場を生み出している。

意見書

教 科
生 活

種 目
生 活

発 行 者
啓林館

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ある児童のできるようになったことが日記形式で示されていて、自分の成長に気付いていく構成になっている。 ・おもちゃ作りの単元では、願いをもって取り組んでいく学びの過程が示され、見通しをもつことを支援している。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻巻頭の「がっこうだいすき いちねんせい」では、初めに入学前の生活を振り返るページが位置づけられている。幼児期に育まれた資質能力を発揮しながら、学校生活を始めることができるよう工夫されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回探検した場所に秋も出かけ、インタビューしたり、体験したりする。町の素敵(願い・工夫・おすすめ)をどうしたらうまく伝わるか考え、新聞・ポスター・クイズ・劇などを例示している。町の素敵の広め方、ありがたいの伝え方も例示している。
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻では伝統的な遊びを、下巻では各地の伝統行事を例示し、日本の伝統文化に愛着をもてるように配慮している。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用の仕方 「がくしゅうずかん」内 上下巻「タブレットをつかおう」では、写真や動画のとり方について紹介されている。 ・二次元コードの数は、上巻が42、下巻が19、合計61のデジタルコンテンツが掲載されている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習での学びの様子がイラストによって示され、活動前の見通しとして活用できる。
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻ともA B判の大きさであり、縦の長さが15.8 cmと短いため、児童が扱いやすいサイズになっている。
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・小単元名、ヒント、安全指導「次の活動に誘う言葉」等を同じ位置に配置している。 ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で単元を構成している。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・各巻末に「がくしゅうずかん」があり、学び方や道具の使い方について、10ページ以上掲載している。 ・下巻の巻末に「3年生へのステップブック」を位置付けて、生活科での学びを振り返る場がある。